

一般会計補正予算など12議案を議決

第3回市議会定例会



平成十四年度第二回市議会定例会が、六月十四日から二十一日まで開かれ、提案された十二議案を審議。全議案を承認・可決・同意しました。

承認・可決された主な議案

●平成十三年度白根市一般会計補正予算(第十二号)の専決処分
既決の予算に一億四千四百九十六万円を追加して、総額を百三十億二千三百三十一万七千円としました。歳入では、地方譲与税、地方交付金、地方交付税などの確定により、予算額の調整を図ったほか、各種基金の利子収入の計上などを行ったものです。

歳出では、参議院議員新潟県選出議員補欠選挙費や、事業が完了した埋蔵文化財発掘作業委託料の不用額分の減額などを行いました。また、

この補正で余剰財源が生じることから、財政調整基金に任意積み立てをし、予算措置を行っています。

●平成十四年度白根市一般会計補正予算(第二号)
既決の予算に三千五百九十九万一千円を追加し、総額を百二十億二千五百七十一万二千円としました。補正予算の主な内容として、土木費では、街並み環境整備事業に関する経費および活動補助金や、清瀬苑の入り口を整備するための必要経費を計上しました。

教育費では、庄瀬小学校国有地購入費や白根小学校屋上防水工事の追加経費などを計上しています。また、「チャレンジ21教育推進運動」に替わる「やる気一元気一元気(総合学習事業)」と、休日に多様な学習活動の機会と場を青少年に提供する「いきいきウイークエンド夢事業」が県の事業として行われることから、本市でもこれらの事業に取り組むため、それぞれ必要経費を計上しました。

歳入の予算補正については、歳出の補正に伴う国庫支出金や県支出金、寄附金などを計上したほか、十三年度の老人保健特別会計繰出金の精算による還付金を計上しています。

同意された人事案件

●公平委員会委員の選任

加茂昭夫さん(六十八歳・桜町二)の選任について同意しました。同委員の任期は四年です。

アヤメで地域おこし



六月二十三日、根岸地域生活センターでアヤメまつりが行われ、たくさん

根岸地区第1回アヤメまつり

さんの人でにぎわいました。根岸地区のアヤメは、平成十一年に新発田市の五十公野公園から分けてもらった約四千株を、地域住民が同センターわきの田んぼへ移植したのが始まり。このアヤメを新たな特産物にするともに地域を活性化させようと、「アヤメまつり」が初めて開催されました。

主催した根岸フルーツフラワーの里推進協議会の笠原彰会長は「地域おこしのために、今後もこの祭りを盛り上げていきたいです」と話してくれました。

感謝・感心・感動を胸に

第7回新潟県手をつなぐ育成会白根大会



六月二十二日、障害者の保護者らでつくる(財)新潟県手をつなぐ育成会主催の白根大会が開催されました。カルチャーセンターをメイン会場に県内から一千を超える人が参加。「どこに住み、どこで働き、誰がどのように支えたらよいかみんなで考え、実践にうつそう」を大会スローガンに、障害者の社会参加について考えました。

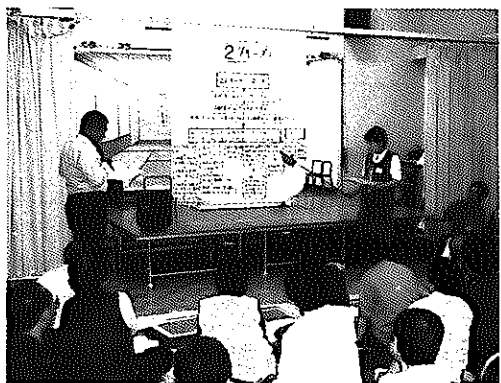
別会場では、子どもたちがボランティアと一緒に「私たちの夢に向かって」の話し合いや、風作り、ダンスなどをして楽しく交流しました。

地域で目指す、理想の姿

小林ふれあい地域づくり事業報告会

平成十三年度から三カ年事業として実施している市の「ふれあい地域づくり事業」が一年目を迎え、このほど報告会が小林保育園で開催されました。

この事業は、小林地区をモデル地区に、高齢になっても安心して暮らせる地域の実現に向けて、住民自ら考え、行動していくことを目的にスタート。地元住民から選出された「小林ふれあい地域づくり委員」四十三人が中心となって活動をしていきます。報告会には、地元住民など約百人が参加し、委員たちによる寸劇や、一年間話し合ってきた理想の地域像についての発表が行われました。寸劇は「小林ふれあい地域づくり事業ってなあに!」をテーマに、事業の出发点やこれまでの経過、問題



の結果を発表しました。最後に委員と参加者で意見交換が行われ、参加者から「お互いに声を掛け合い、いろいろな人たちと話をすることが大切」「お年寄りだけではなく、小・中学生や若い人たちのことも考えていく必要がある」「など活発な話し合いとなりました。この報告会を踏まえながら、今後も委員を中心に活動し、理想の地域像を実現するための「小林地区ふれあい地域づくり活動計画書」を作成していくことになりました。

体育祭を盛り上げる小さな招待客

白根高等学校 創立40周年記念体育祭



六月十九日、白根高等学校の創立四十周年記念体育祭が、同校グラウンドで開催されました。今年の体育祭の目玉は、地元古川保育園の園児を招いての「玉入れ」。これは、地元の人たちと交流を図ろうと、生徒会が四十周年を記念して企画したものです。

競技が始まると、背伸びしたりジャンプしたりして、団長の担ぐかごに次々と玉を入れていく園児たち。その愛らしい姿に「投げて! がんばって!」と生徒たちから大声援が送られていました。

楽しく学びながら仲間づくり

平成14年度「コミュニティカレッジ(青年スクール)開講式



六月二十六日、白根学習館で中央公民館主催の平成十四年度コミュニティカレッジの開講式が行われました。今年度から青年スクールの名称をコミュニティカレッジに変更。開講式では、小林隆二中央公民館長が「楽しく学びながら仲間づくりをしてください」とあいさつし、講座がスタートしました。

今回は、料理、茶道、陶芸、フラワーデザイン、ウクレレの五コースに、市内に在住・在勤する青年五十一人が参加。毎週水曜日全十回のカリキュラムで行われます。初日から受講生たちは楽しい雰囲気の中で学習していました。